



今何をすべきか

富津シティロータリークラブ
2020-2021 年度 会長 渡邊 敏

昨年来の台風豪雨災害そして新型コロナウイルス感染被害と世界規模で被害を及ぼしている状況です。

社会情勢の中、我がロータリークラブでは今何をすべきか又何ができるのかを重要な課題としてクラブ奉仕活動を実践してゆかなければならない。

活動の基盤である地域社会において他の奉仕団体との交流を交え地域の活性化に寄与して行く事によりクラブの活性化を図ると共にロータリーの存在を広める機会となり交流事業による出会いを機に会員増強に繋げそして奉仕する機会への扉を開いていけるのではないのでしょうか。

クラブ内においてはオンライン例会の導入を進め出席率の向上、健全なクラブづくりを目指し、初代会長鳥海良皓氏の提唱したクラブテーマとしての WA の精神「和・話・輪」を忘れる事無く、会員相互の信頼と尊重を保ち意義のある奉仕活動を行なえるクラブづくりを目指し、会長として1年間勤めますので御協力をよろしくお願いいたします

クラブ目標

- 1.20 名体制を目指し全員体制で取り組みクラブの体質改善を行う
- 2.地域との交流を深め有意義な社会貢献を目指す
- 3.新富工業協議会企業との交流
- 4.クラブ活動のアピールを推進（HP・SNS の活用）
- 5.次世代を担う青少年活動への支援

継続事業

- 1.桜の森の維持と広報活動
- 2.富津中央ロータリークラブとの少年野球への支援
- 3.ベトナム児童養護施設支援（今期は新型コロナウイルスの為中止）
- 4.川崎マリンロータリークラブとの交流
- 5.青堀駅前ロータリー清掃活動